

公成建設株式会社

VOL. 444

安全衛生ニュース

◆「Good&New」を拾い続けて21年◆

代表取締役社長 絹川 雅則

■「Good&New」とは⇒自分の周りの「ほんの小さな良かったこと」、「小指の爪の先ほど小さな前向きの動きや思いや新しい試み」…普段なら見逃してしまう出来事や思いを、丁寧に拾い集めて手帳に書きつけること。それを習い性となるまで続けること。更にそれを周りの人とシェアすること。



■「朝一番のミーティングで、或いは階段での立ち話・コーヒーブレイクの雑談の中で、手帳や野帳に書き留めたG&Nたちをシェアし共有する文化が定着したら、「ゼロ災公成はきっと夢ではなくなる。」と書いたのは2017年。手帳にG&Nを拾い始めたのは2005年、G&Nノートにまとめ始めたのが2013年、「Good&New」を拾い始めて21年が過ぎた。しつこく続けて来たものだと思う。

■もちろん、疲れ切った状態やネガティブな精神状態にどっぷり浸かった状態では、G&Nを絞り出すのは大変かもしれない。だからこそ、普段から小さなG&Nを聴き、拾い、口にする練習が必要なのだと思う。自らの中のG&Nを絞り出し、ノートに書き続けてきたそれらを折にふれて振り返る。そこにはきっと、人知れず自分がやってきた工夫や努力の痕跡がある。「そうかあ～自分も結構頑張ってたよなあ～」そうやって、まるで漢方薬のように我々の精神的健康を下支えするのが、G&Nの持つ自己肯定感のメンテナンス機能なのだ。

■そして、普段から小さなG&Nを聴き、拾い、口にすることに習熟した人物であるならば、その次の段階が見えてくるはずだ。人知れず同僚や後輩や協力企業の職人たちが、積み重ねてきた工夫や努力の痕跡が見えてくるはずだ。その時こそが間髪を入れず、つぶやくタイミ

12月度合同パトロール

12月11日(木)13:00 より

協力会:株タカダ

安衛委員:木本・匹田・石垣・山岡・松永

以上6名で実施しました。

発行
公成建設㈱安全衛生
協力会事務局
編集
安全衛生委員会
事務局

事務局

『寸評』 安全衛生委員会

12月度の合同パトロールは、土木現場「桂川横大路下島地区堤防強化他工事」を、安全衛生協力会1名、安全衛生委員会5名の計6名により実施しました。

当日々、小春日和の中、『重機・クレーン災害の防止、転倒・転落災害の防止』を主眼に、安全パトロールを行いました。

◆ 桂川横大路下島地区堤防強化他工事

当工事は、一連の桂川の浸水、治水対策工事の一環で、鋼矢板 (L=16m) を打設することにより、横大路地区の浸水を防止する工事です。

瀧所長より概要・進捗状況説明を受け、重点目標の「重機・クレーン災害の防止、第三者災害の防止」を主眼に安全点検を行いました。当日の作業は、鋼矢板打設で職員を含め19名でした。

工事場所: 伏見区南島～中ノ島町地先

工 期: 令和7年8月18日～8年2月27日 (6.5ヶ月)

発注者: 近畿地方整備局 淀川河川事務所

工事概要: 矢板護岸工 122枚

法覆護岸工 371m²

付帯道路工 2,037m²

河川土工 1式

出来高: 20.2% (11/30現在)

安全成績: 労働延時間=3,184時間

休業災害0件・不休災害0件。(12/1現在)

《良好な事項》

- ① 場内整理整頓、片付け
- ② 現場ルールの励行

《改善・点検を要する事項》

- ① 溶接時の保護具の着用
- ② 昇降設備の手すり不備

■講評では、整理整頓の行き届いた現場ですが、これから冬休みに入り、子どもやウォーキング等の第三者が多くなると思われる所以、注意喚起看板の増量と防塵対策をお願いしました。

■北澤主任からは、「年明けからは、堤防道路の舗装も始まり全面通行止めとなるので、夜間照明等に留意したい。」とのコメントでした。



【桂川横大路下島地区堤防強化他工事】

重 点 実 施 例

『京都地区保全工事(その1)』

土木部 高速維持G 工事主任 森川 昇

この工事は

名神高速道路 京都東 IC～高槻 JCT 26.3Km

京滋バイパス 笠取 IC～大山崎 JCT・IC 17.0Km

第二京阪道路 鴨川東 IC～枚方東 IC 18.8Km

京都縦貫自動車道 長岡京 IC～大山崎 JCT・IC 2.0 Km

新名神高速道路 八幡京田辺 JCT・IC

～城陽 JCT・IC 35.0Km

京奈和自動車道 城陽 IC～木津 IC 16.4Km

総延長 84.0Km

工事の内容として

・清掃作業(路面清掃、TN側壁清掃、排水溝、排水管、集水桟、のり面保守業務等)

・植栽作業(草刈り、剪定、伐採、除草剤散布等)

・雪氷対策作業(凍結防止液・剤散布、除雪作業等)

・緊急作業(事故清掃・復旧、小補修等)

・交通事故復旧作業(ガードレール、標識、誘導標、クッションドラム、防護柵、遮音板の取替、舗装等)

・その他補修工事、災害復旧工事

この工事は年間を通して、24時間365日安全・安心・快適な高速道路をお客様に提供することを目的とし、作業におきましては、事故防止として、段差や排水溝では注意看板等で見える化し、声の掛け合いを徹底して実施しています。

植栽作業については、作業前のケーブル等の確認及びピンクリボンにて明示し、ケーブルの周りは手刈りにて作業を行っています。

これからも職員、作業員、第三者の安全を確保し、事故のないように日々行っています。 ご安全に!



【京都地区保全工事(その1)】

現場 ニュース

『新名神高速道路城陽第一高架橋(下部工)拡幅工事』 土木部 土木G 所長 成松 正強

本工事は、新名神高速道路（大津～城陽）における城陽第一高架橋下部工の6車線化拡幅工事、城陽JCTランプ部盛土及び城陽第一高架橋～城陽JCT間の調整池、高架下整備を施工するものです。現時点での主な工事内容は、橋脚拡幅：6基、鋼管ソイルセメント杭 φ1200（鋼管径 φ1000）L=14.0m～19.5m：N=134本、切盛土工：90,000m³、調整池：5箇所、用排水工等です。工期は、令和11年5月までです。施工範囲内に国交省、京都府、城陽市等の他工事の作業もあり調整が密に必要です。NEXCO西日本は、『工事安全管理は受発注者一体となって取組み、『安全性を高めるもの』という認識のもと、『工事施工会社が、施工計画書策定時に重大事故リスクを抽出し、必要な安全対策並びに受注者における点検項目の記載を求める』という『重大事故リスクアセスメント』を軸に、受発注者一体となって工事中事故撲滅に向けた安全管理に努めていくことを、仕様書において規定しており、日々の対応に時間を要します。計画、打合せ、確認等を行い、安全第一に努め、残りの工期を無事に終えられるように努めます。ご安全に！



【F調整池】



【P4橋脚】



【JCT 軽量盛土】
【新名神高速道路城陽第一高架橋(下部工)拡幅工事】

安衛 コラム

『入社日から今日までを振り返って』

建築部 工事係員 平岡 由伸

お疲れ様です。今年2月に入社した平岡です。4月末から「久御山町まちづくりセンター建築工事」に勤務しております。入社から9ヶ月が経ち、会社の雰囲気や仕組みにはかなり慣れてきましたが、前職とは違い、本社に待機している期間が3ヶ月近くあったり、経験したことのない規模感の現場に日々必死に食らいしていく毎日を過ごしています。入社最初の3ヶ月間は本社にて新入社員向けの研修を受け、4月から入社してくる新入社員用の研修資料作成の手伝いをしつつ、手が空いたら資格試験の勉強を行っておりました。4月の新入社員研修では今までの現場経験と大学で学んだ法律知識を活かしつつ作成した資料を基に、4月からの新入社員にプレゼントする機会もありました。

4月末から「久御山町まちづくりセンター建築工事」の現場に配属され、勤務しております。最初の数ヶ月は先に配属されていた先輩社員の下、現在の工事内容や進捗について説明を受け、身の回りのできることから積極的に仕事を進め、都度先輩社員に報告し、指示をいたしました。また、分からぬことだらけの現場でしたので、積極的に情報を集め、勉強する日々を送っていました。まだまだ分からぬことだらけですが、周囲と協力し合い、これからも現場の管理に努めていきたいと思います。ご安全に！

重 点 施 策

年末年始の現場管理

年末年始の事故は、主に「長期休業前後の慌ただしさ」と「休業期間中の管理不在」という二つの時期に分類され、共に人命にかかわる重大な労働災害や、第三者を巻き込む事故、物的損害を引き起こす可能性があります。

1. 休業直前の労働災害リスク

年末は工期末が重なる現場もあり、工事を急ぐあまり安全対策が不十分になります。

墜落・転落事故: 高所作業での安全帯不使用や、足場・開口部の安全措置の省略により発生します。慌ただしさの中での確認不足が主な原因です。

重機事故: クレーンや建設機械の操作ミス、誘導員の配置不足、周囲の確認不足による接触・転倒事故が発生しやすくなります。

交通労働災害: 資材運搬や移動が多くなる時期であり、焦りや疲労による交通事故のリスクも高まります。

対策として、厚生労働省の後援による「建設業年末年始労働災害防止強調期間」を活用し、「無事故の歳末 明るい正月」をスローガンに掲げた、集中的な安全教育や、リスクアセスメントの実施が不可欠です。

2. 休業期間中の事故・災害リスク

現場が無人になることで、管理が行き届かなくなり、第三者による事故や災害のリスクが高まります。

火災: 不審者による放火や、休業前の火気・電気設備の消し忘れによる出火が懸念されます。

公衆災害: 不適切な資材の保管や足場の養生不足による資材の落下、強風による仮設物の転倒などが、一般通行人や近隣住民に被害を及ぼす可能性があります。

盗難: 資材や工具の盗難も頻繁に発生します。

対策として、休業前の徹底した現場パトロールによる安全確認、資材の適切な保管と施錠、第三者の立ち入りを制限するための措置（バリケード設置、警備システム導入）が重要です。

年末年始は、管理者も作業員も常に高い安全意識を持ち続け、基本動作を徹底することが事故防止の鍵となります。

高速維持グループ

◆事務局からのお知らせ◆

■ 建設業年末年始労働災害防止強調期間

期 間：12月1日～1月15日

スローガン：「無事故の歳末 明るい正月」



■ 安全衛生委員会年末パトロール ① 12月23日(火)



【久御山町まちづくりセンター
新築工事】



【宇治川向島地区護岸整備工事】

② 12月24日(水)



【新名神城陽第一高架橋
拡幅工事】



【ドーミー山科東野計画】

■ 新年五例会催しのお知らせ

日 時：令和8年1月7日(水) 11:00～11:30
場 所：京都東急ホテル 2階「雅の間」

■ 安全衛生協力会・委員会合同パトロールの予定

日 時：令和8年1月15日(木) 13:00～15:30
場 所：宇治川向島地区護岸整備工事
協力会：(株)日本サルベージサービス・(株)朝日組
・(株)田中組

■ 工事完成 ご苦労様でした。



【三栖地区】



【久御山地区】

【宇治川中下流域護岸整備工事】